

保健案内

保健センター
長野2-3-17
TEL: 553-0053
FAX: 555-2551

子どもの健康

乳幼児健診

健診名 4カ月児健診、1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診

その他 転入されたお子さんで、前住所地で受診していない方は保健センターにご連絡ください。

BCG予防接種

受付日時 11月21日(木)、12月9日(月)午後1時40分～2時

対象 生後3カ月以上1歳未満(1歳の誕生日を迎える前々日まで)のお子さん

定員 50人

※標準的な接種時期は、生後5カ月から8カ月です。

※予約制のため、接種希望日の1週間前までに同センターへ申し込みください。予約後、都合により接種日を変更するときもご連絡ください。

乳幼児相談(要申し込み)

日時 12月3日(火)午前9時30分～11時

対象 小学校入学前のお子さん

離乳食教室(初期)(要申し込み)

日時 12月3日(火)午前10時30分～11時30分
(午前10時15分から受け付け)

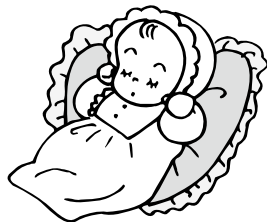
対象 平成25年6月15日～7月14日生まれのお子さんがいる方

離乳食教室(中後期)(要申し込み)

日時 11月26日(火)午前10時30分～11時30分
(午前10時15分から受け付け)

対象 7カ月から11カ月のお子さんがいる方

※いずれも場所は
保健センター



市の個別検診を受けられる方へお知らせ

行田外科医院(忍1-7-30)は廃院となったため、受診できません。他の医療機関での受診をお願いします。

対象となる個別検診

ヤング健診、B型・C型肝炎ウイルス検診、大腸がん検診、前立腺がん検診

休日急患診療

期 日	医療機関名
11月17日(日)	清幸会行田中央総合病院
11月23日(土)	清幸会行田中央総合病院
11月24日(日)	壮幸会行田総合病院
12月1日(月)	壮幸会行田総合病院
12月8日(日)	清幸会行田中央総合病院

- ・診療科目……内科、小児科、外科
- ・診療時間……午前10時～午後5時
- ※医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせください。

・清幸会行田中央総合病院 ☎553-2000

・壮幸会行田総合病院 ☎552-1111

◇夜間などの急病やけがで受診できる医療機関を知りたいとき

・行田市消防署 ☎550-2123

・埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199

◇埼玉県小児救急電話相談「#8000」

・県内どこからでも「#8000」をプッシュすると相談窓口につながります(携帯電話可)。

・相談時間 【月～土曜日】午後7時～翌日午前7時

【日曜日、祝日】午前9時～翌日午前7時

加須保健所「ひきこもり専門相談」

明らかな発達障害や精神疾患などの病気がない、青年期のひきこもり状態にある方やその家族の方を対象に専門相談を実施します。

日時 12月4日(水)午後1時30分(予約制)

※毎月第1水曜日

場所 加須保健所小会議室(加須市南町5-15)

相談対応者 臨床心理士、加須保健所職員

費用 無料

申し込み・問い合わせ

11月27日(水)までに

電話で同保健所保

健予防推進担当☎

0480-61-1216

※事前に精神保健

の担当者が話を伺

います。



放っておけない！糖尿病予防教室 ～糖が高いのを放置していませんか～

糖尿病は初期の段階では自覚症状がないため、気が付いたときには症状が悪化していたという方が大勢います。そうなる前に正しい生活習慣を身に付けて、糖尿病を予防しましょう。

日 時	内 容
12月10日(火) 午後2時～3時30分(午後1時45分から受け付け)	医師講話「お薬無しで！今日からカンタン！糖尿病」 川島治さん(行田中央総合病院院長) ミニ講話：生活習慣改善のポイント①
12月17日(火) 午後1時～2時30分(午後0時45分から受け付け)	歯科医師講話「意外な関係！糖尿病と歯周病」 清水泰治さん(いちり山歯科医院院長) ミニ講話：生活習慣改善のポイント②

※2日間で1コース

場 所 商工センター403研修室
対 象 市内在住の方
定 員 20人(先着順)
持 ち 物 健康手帳、筆記用具、健診結果
申し込み 11月18日(月)から直接または電話で保健センター

ママ・パパ教室

これからママ、パパになる方を対象に、楽しく友達をつくりながら妊娠・出産・子育てについての教室を行っています。ぜひご参加ください。

期 日 ①11月19日(火)②11月28日(木)③12月12日(木)※3日間で1コース

時間・場所 ①③は午後1時30分～4時(午後1時15分から受け付け)に保健センター
②は午前10時～午後2時30分(午前9時45分から受け付け)にVIVAぎょうだ

内 容 妊娠中と産後の生活の話、子どもの手続きについての話、調理実習、妊娠中と赤ちゃんの歯の健康についての話、子どもの成長と育児の話、沐浴実習など(初めてお子さんを産む方向け)

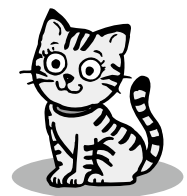
対 象 妊婦の方とその家族
※すでにお子さんがある方でも、人数に余裕がある場合は参加できます。

注 意 妊娠初期(15週まで)と妊娠後期(28週以降)は体調が変化しやすいため、安定期に入った妊娠中期(16週～27週)の方の参加をおすすめします。

申し込み・問い合わせ 直接または電話で同センター

猫との共生を考えましょう

最近、飼うことのできない猫が増え、「子猫が捨てられている」「泣き声がうるさい」などさまざまな苦情が増えています。これは、不妊去勢をしていない猫が屋外で繁殖したり、屋外で猫に餌を与えたりすることが原因です。猫はかわいらしいペットですが、むやみに増えるとふんや尿による衛生問題を引き起こします。また、全ての人が猫好きとは限りません。餌場の周囲に住む人は、猫の鳴き声や庭などへの侵入で迷惑していることもありますので、「猫との共生」を考え、人も猫も住みよいまちをつくりましょう。



■ 猫との共生ルール

1 猫の飼い主さんへのお願い

- 不妊去勢手術を受けさせましょう
猫が無制限に繁殖し、飼えなくなって捨てるなど、不幸な猫を増やさないためにも不妊去勢手術を行いましょう。不妊去勢手術をすると、発情期の泣き声や猫同士のけんかも減ってきます。
- 猫の「室内飼い」のススメ
「外に出られないとストレスがたまるのでは」と思われがちですが、室内が猫にとって安心できる場であれば、猫は室内を“なわばり”として生活します。また、高低差がある空間で遊ぶことができれば、室内で十分必要な運動になります。猫の室内飼いは、望まない猫の妊娠や交通事故、病気など猫の危険を避けるよい方法です。
- 猫を捨てないで！
猫を捨てることは犯罪で、動物愛護法により罰せられます。途中で飼えなくなった場合や子猫が生まれても飼えない場合は、新しい飼い主を見つけましょう。どうしても対応できない場合は、埼玉県動物指導センターに相談しましょう。

2 猫に屋外で餌を与えない

猫をかわいそうに思う気持ちは大切ですが、屋外で猫に餌を与え続けることは、猫の繁殖を促し、かえって不幸な猫を増やしてしまうこととなります。また、餌場周囲でのふんや尿など近隣住民の衛生問題、猫同士の病気も問題となります。「私が餌をやらなければ猫が飢え死にしまう」というのは、思い込みの場合があります。猫は複数の餌場をなわばりとするため、餌がなければ他の場所に移動していきます。

3 猫が庭などに寄り付いてしまう場合は

猫が庭などに寄り付いてしまうのは、その場所が猫にとって快適な場所だからです。猫の嫌がるコーヒークサやどくだみ茶、食用酢、ミカンなどの柑橘系の皮、たばこの吸殻を浸した水、市販の忌避剤などをまいてみてください。

▶**問い合わせ** 埼玉県動物指導センター(熊谷市板井123) ☎536-2465